



S A I T O
INTERNATIONAL
CULTURE PARK

彩 都





※1.北大阪急行電鉄株式会社ホームページより。※掲載の地図は、一部の道路および建物を省略して描いております。※掲載内容は2023年5月調査時点のものです。



彩都(国際文化公園都市)建設推進協議会

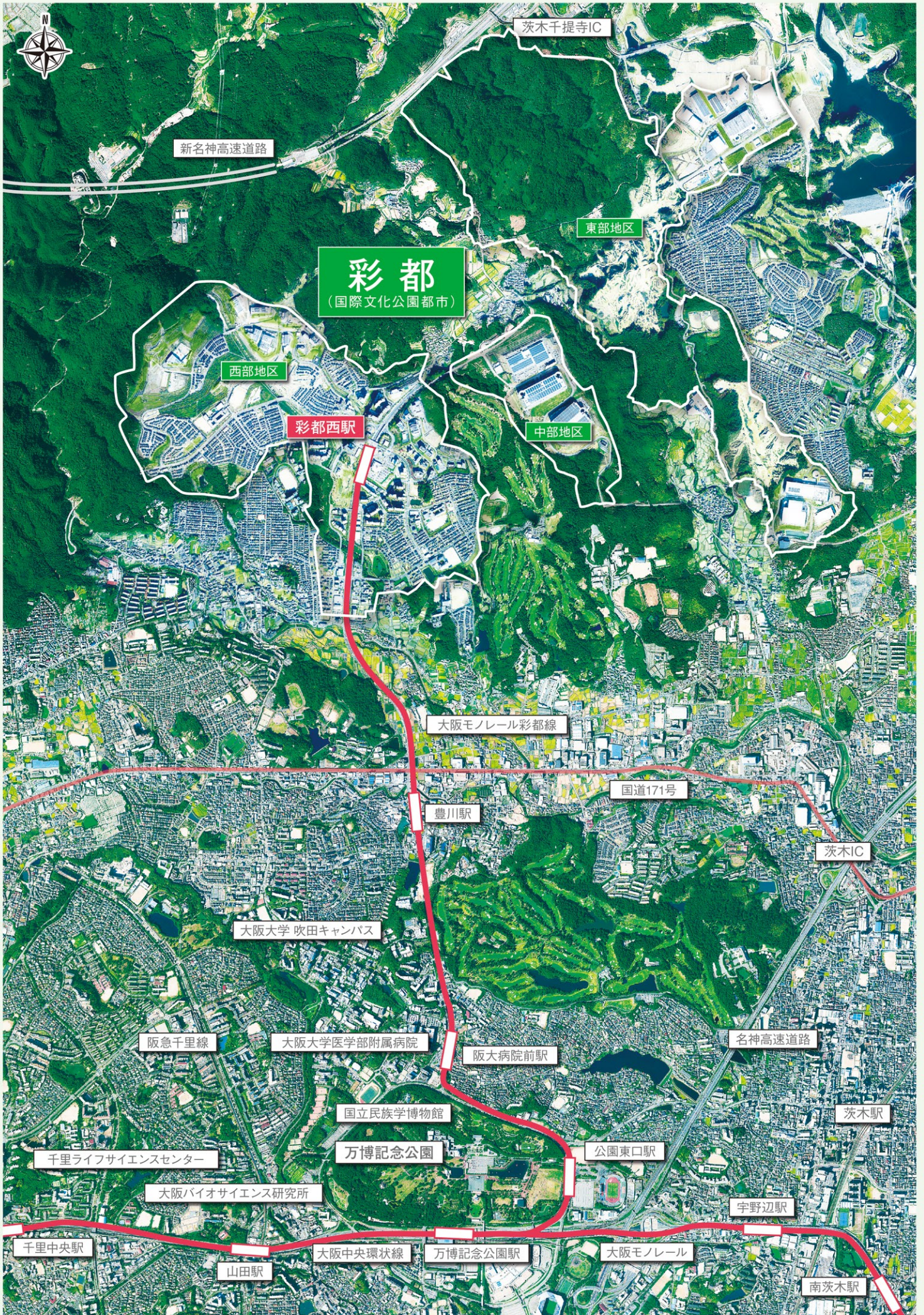
〒559-8555
 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎33F
 (大阪都市計画局 拠点開発室 戦略拠点開発課 内)
 TEL 06-7506-9343 FAX 06-7506-9722
 e-mail info@saito.tv
<https://www.osaka-saito.jp>

詳しくはホームページをご覧ください。

彩都協議会

検索





彩都

(国際文化公園都市)

西部地区

東部地区

中部地区

彩都西駅

大阪モノレール彩都線

国道171号

豊川駅

茨木IC

大阪大学 吹田キャンパス

阪急千里線

大阪大学医学部附属病院

阪大病院前駅

名神高速道路

国立民族学博物館

茨木駅

千里ライフサイエンスセンター

万博記念公園

公園東口駅

大阪バイオサイエンス研究所

宇野辺駅

千里中央駅

山田駅

大阪中央環状線

万博記念公園駅

大阪モノレール

南茨木駅

※航空写真は2021年9月に撮影した画像と2022年11月に撮影した画像にCG合成を施しております。

みどりとみらいの見える丘

「みどり」あふれる豊かな自然。

「みらい」をはぐむ先端の科学や産業。

ふたつの色に彩られた丘、彩都。

「みどり」と「みらい」が織りなす彩都のまちでは、

新しいライフスタイルに彩られた、人と人、人とまちがつながる

心豊かな暮らしが始まっています。

ここにしかない丘。広がり続ける丘。

彩都へ、ようこそ。



彩都（国際文化公園都市）

彩都は、北大阪（箕面市・茨木市）の丘陵地に、文化学術や研究開発、国際交流、産業集積といった特色ある機能を組み込んだ時代を先導する都市づくりをめざしています。彩都は西部地区（約313ha）・中部地区（約63ha）・東部地区（約358ha）の3地区（総面積約734ha）で構成され、西部地区及び中部地区に続き、現在は東部地区でまちづくりが進められています。

彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会

自然と都市が調和するアメニティ豊かな複合機能都市「彩都」の形成に関する調査研究、企画立案などを行うことにより、彩都建設の推進に寄与することを目的としています。

構 成

彩都建設に直接関係する大阪府・茨木市・箕面市・都市再生機構・民間事業者及び彩都建設に賛同する経済団体・公益団体・大学・研究機関・民間企業などの代表者

事 業 内 容

- 国際的な文化・学術研究の新しい交流拠点及びライフサイエンス研究等の新しい研究開発拠点の形成に関する調査研究及び提言
- 彩都の形成に関する調査研究及び企画立案
- 国際交流・学術文化・研究開発施設等の誘致の推進
- 彩都建設に関する要望活動及び広報活動
- その他本会の目的を達成するために必要な事業

POINT 1

国際的な文化・学術研究の
新しい交流拠点の形成

POINT 2

ライフサイエンス(生命科学)研究の
新しい研究開発拠点の形成

彩都ライフサイエンスパーク(西部地区)では、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所などバイオや医薬をはじめとする様々なライフサイエンス関連分野の研究・開発企業が集積しており、大学・研究機関との近接・緊密な連携が可能です。



大阪大学医学部附属病院



医薬基盤研究所

POINT 3

定住性豊かな新住宅地の形成

自然の地形を活かし、低層住宅や中高層住宅を配置した住宅地は、緑や眺望にすぐれ、変化に富んだ住環境が形成されています。2004年のまちびらき以降、人口17,000人を超える都市に成長しています。



緑あふれる街並み

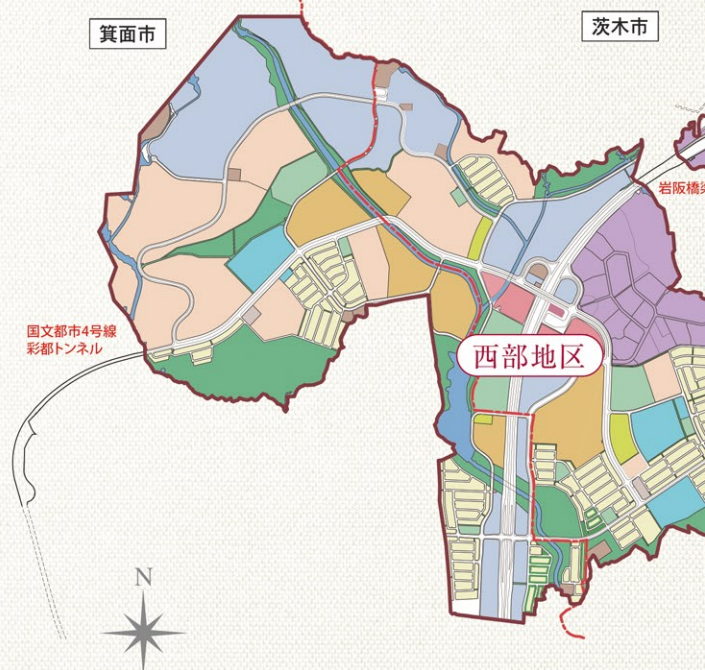
POINT 4

緑豊かな「公園都市」の形成

自然林を保全活用した「あさぎ里山公園」をはじめ、「彩都西公園」、「彩都なないろ公園」など、身近に自然とふれあえる環境が整った、みどり豊かな景観や美しい街並みが広がっています。

土地利用計画

凡 例	
—	施行地区界
—	道
—	交通広場
—	歩行者専用道路
—	公園
—	緑地
—	河川・水路
—	教育施設用地
—	地区センター
—	住区センター
—	都市運営施設
—	計画住宅地(中高層等)
—	計画住宅地(戸建等)
—	一般住宅地
—	共同住宅区
—	集合農地区
—	国際文化施設区1
—	国際文化施設区2
—	施設導入地区



の基本方針

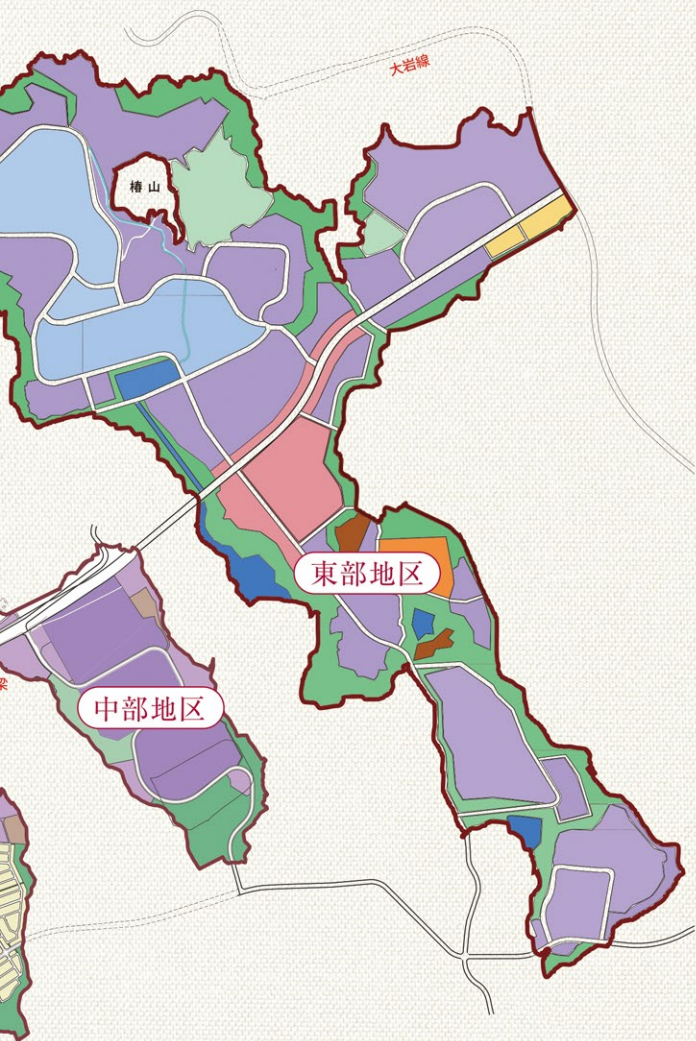


彩都西公園



彩都なないろ公園

計画図(案)



※表示している土地利用計画(案)は、2019年5月時点でのめざすべき街の姿であり、今後、彩都東部地区全体の段階的な整備が見込まれるため、社会経済情勢や周辺環境の変化に対応した見直しを行います。

POINT 5

特徴ある情報拠点と 情報通信基礎の整備

今後もますます需要が高まる情報通信インフラの整備において、西部地区は大阪中心部から20km、標高200mの安定した地盤にあり、大阪中心部からのアクセスが容易であることから、順次データセンターの建設が進んでいます。



データセンター

POINT 6

地域整備への寄与

POINT 7

民間活力を活かした新市街地の形成

モノレールや小中学校、公園、コミュニティ施設など、都市基盤の強化とともに生活拠点の整備も着実に進んでいます。国土軸に近くアクセス良好な東部地区では、多様な価値観やニーズに応える、「産業」「健康」「環境」を柱とした職住近接型の魅力あふれるまちづくりをめざしています。



モノレール



立地企業



彩都西小学校



彩都の丘学園